

春～夏の イベント 情報

やんばる野生生物保護センターでは、大人から子供まで楽しめる
自然とふれあう企画として、自然観察会や体験教室、講演会などの
イベントを予定しております。ぜひご参加ください。

主催・共催：やんばる自然体験活動協議会 **お申し込み・お問い合わせは 0980-50-1025 まで**
担当：東恩納由美子（協議会職員） **☆☆ お気軽に、お電話ください ☆☆**

今年度も、やんばるの魅力と不思議にせまる、さまざまなイベントを予定しています。
色々な内容を企画していきますので、みなさんのご参加をお待ちしています。

ノグチゲラの講演会をします！

日時：6月頃 場所：東村
講師：小高信彦（森林総合研究所 九州支所）
ノグチゲラの調査をしている小高信彦さんに、最新情報も含め、ノグチゲラの面白い話をさせていただきます。

※詳しい内容については、チラシや村内放送等でお知らせいたします。また、講師の都合や天候により変更や中止になる場合もございます。

ウミガメを知ろう！

日時：7月下旬頃 場所：国頭村
講師：米須邦雄（大宜味村役場）、嘉陽宗幸（国頭村役場）
ウミガメの保護活動に携わっているお二人に、ウミガメについて語っていただきます。

担当：新里和野（アクティブレンジャー）

交通安全の春

やんばるの森ではイタジイの花が咲き、鮮やかな新緑が春の訪れを告げ、生きものたちが元気に動き回る賑やかな季節になりました。すでにこの時期ヤンバルクイナは繁殖期に入っていて、「クリリヤー」と鳴きかい、花嫁、花婿探しを始めています。これから先、ヒナを一生懸命育てることに集中しすぎて、道路上へ飛び出してくるヤンバルクイナが増えてきます。今年はもうすでに1件の交通事故が発生してしまいました。

例年事故が多発している県道2号線、70号線及び国道58号線（特に辺戸一奥）を走行する際には、路肩からの飛び出しに十分注意してゆっくり運転に心掛けて下さい。ヤンバルクイナのヒナのかわいい姿に遭遇するかもしれませんよ。このやんばるが、動物たちの新しい命が安心して生まれ育つことのできる、自然と人間の共存の場所であり続けることを願っています。



センターオープン予告～4月29日（祝・木）開館～

新しくなったセンターが、いよいよ 2010（平成22）年4月29日（祝・木）に、リニューアルオープンします。
リニューアルオープン記念行事と、愛称決定の表彰式も行います。その他楽しいイベントも企画中です。
みなさま是非、新しくなったセンターを見にいらして下さい。
詳細は、チラシやポスター等でお知らせいたします。

～「地球のいのち、えがいてみよう」詳細情報～

4月29日～5月16日（予定）までセンターにやんばるの自然が描かれた大きな壁紙を用意しておきます。
そこにやんばるで見た生きもの、好きな生きもの、守りたい生きものを、みなさんに絵、ぬりえ、折り紙、ちぎり絵などで表現し、貼り付けてもらい作り上げます。完成した作品は、5月の国際生物多様性の日（5月22日）記念イベントなどで展示される予定です。

ぜひ参加して下さい

環境省やんばる野生生物保護センター “ウフギー自然館”

〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村比地 263-1 TEL：0980-50-1025 FAX：0980-50-1026

※ニュースレターのバックナンバー（旧号）は、やんばる野生生物保護センターで配布しているほか、
環境省ホームページでもご覧頂けます。http://kyushu.env.go.jp/naha/nature/mat/m_2.html

開館時間：午前10時～午後4時半 入館料：無料

休館日：毎週月曜日・一部祝日・6月23日（慰霊の日）・年末年始



やんばるニュースレター

発行：環境省やんばる野生生物保護センター

環境省やんばる野生生物保護センターでは、やんばるの自然環境や野生生物についての調査研究や保全のための事業、みなさんに理解・関心を深めていただくための普及啓発活動、また、自然環境の保全と利用の両立による地域振興を図るための国立公園化の検討などを行っています。このニュースレターを通して、これらの取組の状況などを、3村のみなさんに広くお知らせしていきたいと思っています。

No.13

Yambaru Newsletter

2010年4月
発行

～今回お知らせする内容～

- ・センターの愛称が決まりました！
- ・新しいセンターの展示は楽しいですよ～
- ・生物多様性って何？ ～2010年は生物多様性年です～
- ・集落内でのヤンバルクイナフレイバック調査・ヤンバルクイナ学習会
- ・春～夏のイベント情報 ・交通安全の春
- ・センターオープン予告 ～4月29日（祝・木）開館～



～イタジイ（花）～

やんばるの森を代表する樹木です。
秋のシイの実が動物たちのエサとなり、幹は営巣木としても利用される、生きものたちにとって欠かせない樹木です。春になるとやんばるの森を甘い香りでお包みます。

センターの愛称が決まりました！

担当：加藤麻理子（自然保護官）

展示リニューアルをきっかけとして、3村地域のみなさんにも親しみやすい施設になるよう、募集したセンター愛称が、このたび決まりました。

最優秀賞 「やんばる自然館ウフギー」 久高将治さん（東村）

応募理由：やんばるの森の中のウフギ（大木）をイメージさせる。

※「ウフギー自然館」として、愛称に採用させていただきました。

優秀賞 「くがにぬ森館」 知花直子さん（国頭村）

応募理由：豊かな生態系を持ち、宝物のように貴重なやんばるの森の価値を確認する事ができ、大切にしようと思える場所であるように…。

クイちゃん特別賞 3名

「ネイちゅらセンター」

サザーランド早苗さん（大宜味村）

応募理由：やんばるのネイチャーとちゅらをつけたもの

「もりのなかまハウス」

島袋碧衣さん（国頭村、奥間小学校）

応募理由：もりにむしがいっぱいいるからもりのなかまハウスとかきました。むしもいっぱいいるからです。

「やんばる博士センター」

上地就くん（国頭村、佐手小学校）

応募理由：やんばるの生き物について知ることができる施設なので…。

多くのご応募をいただき、理由がまたうなずかされるものが多く、総数68作品の中から選考にとてみなやみしました！言葉の響きも意味もよく、新しくなるセンターにぴったりの愛称を付けることができました。たくさんのアイデア、本当にありがとうございました。



これから、「ウフギー自然館」を、どうぞよろしくお願い致します。

4月29日（祝・木）に、リニューアルオープンします！→詳しくは裏表紙へ！

新しいセンターの展示は楽しいですよ～。

担当：加藤麻理子（自然保護官）

新しいセンター展示の全貌がいよいよ姿をあらわし、みなさんに来ていただくのを待っています。ここでは少しだけその様子をご紹介します。

○「世界でここだけ」のやんばるの秘密
やんばるの世界の中での位置や、ふくざつな成り立ち、貴重さの証しとなる数字などを紹介。
空から見たやんばるの大きな地図も床でスタンバイ、あなたのお家を探してみたら面白いかも？！

○生きものたちのおりなす、美しい世界
海から里、川、森、源流部まで、それぞれに暮らし、互いにつながりあっているやんばるの生きものたちの世界を紹介します。そこには、同じように自然の恵みを受けて生きている私たち人間の姿も。

○ゆっくりできる「ゆんたくゾーン」
木のあたたかみのある、ゆんたくゾーンが新たにできました。自然の不思議な世界を知りたい気持ちにこたえてくれる、たくさんの本と一緒に、お待ちしております。

まだまだ見どころはたくさんありますが、ぜひ直接足を運んで、その目で見て、感じて下さい。
やんばるの不思議さ・面白さを、一人でも多くの方に感じていただきたいと思っています。

生物多様性って何？～2010年は国際生物多様性年～ 担当：倉持有希（アクティブレジャー）

～生物多様性とは？～
道ばたにさく草花や、そこに集まる虫、そしてその虫を食べる鳥たち。たくさんの生きものは互いにつながりあって生きています。このように、それぞれ違う、さまざまな（多様な）生きものがあることを「生物多様性」と言います。生物多様性は私たち人間が生きていくためにも、とても大切です。

～2010年は国際生物多様性年～
2010年は国連が定めた「国際生物多様性年」です。今年の10月に、愛知県名古屋市で生物多様性を守るため、世界中の国（約190カ国）が集まって会議が行われます（COP10：第10回締約国会議）。この会議では、生きものたちが、つながり支えあい生きていけるように、みんなで自然や生物を守っていかう、そのためにどうしていこうか、という話し合いを行います。

～イベント「地球のいのち、えがいてみよう」を開催します～
やんばる野生生物保護センターではオープンに併せて「地球のいのち、えがいてみよう」というCOP10関連イベントに参加します。このイベントでは1枚の大きなキャンバスに、やんばるのいのち（自然）をえがきます。全国の施設が参加するこのイベントは3月20日～4月4日にかけてやんばる学びの森でも行われました。詳細は裏表紙もご覧ください。



海～川～山の多様な面白さをご紹介します。



やんばるの固有な生きものたちにフォーカス。



集落内でのヤンバルクイナプレイバック調査・ヤンバルクイナ学習会

担当：新里和野（アクティブレジャー）

環境省では、平成17年度より、地元の小中学生とともに集落周辺に生息するヤンバルクイナの生息状況調査を行っています。また、野生のヤンバルクイナに出会う機会の少ない集落の学校に対しては、21年度からヤンバルクイナ学習会の取り組みを始めました。調査や、学習会を通し、子供たちは自分たちの住んでいるやんばるの自然のすばらしさや、大切さ、今の現状などいろいろな事を感じ取ってくれたようです。

東村
高江小中学校

今年は何羽鳴いたかな？

国頭村
安田小学校

去年は何羽
だったかな？

国頭村
安波小学校

たまごの色や大きさが
分かったよ

集落内での
ヤンバルクイナ
プレイバック調査

国頭村
佐手小学校

国頭村
奥小学校

おねーちゃん
は記録係！

私は聞き取り係！

データ解析や考察の
大切さも学びました

追跡調査も
体験したよ

国頭村
奥間小学校

国頭村
辺土名小学校

ヤンバルクイナ
学習会

ヤンバルクイナ博士になれたかな？

プレイバック調査はこれで5年目、学習会は新しい取り組みですが、子供たちにとってやんばるの自然をより身近に感じられるきっかけのひとつとなって欲しいと思います。また今年度もよろしくお願いします。